

公益社団法人 茨城県作業療法士会
平成 29 年度 第 3 回理事会 議事録

日時：平成 30 年 5 月 13 日（日） 10：05～12：15

場所：茨城県作業療法士会事務所（水戸市緑町 3-5-35 茨城県保健衛生会館内）

出席：（理事）大場、寺門、角田、笥、小森、武士、荒井、田口、若山、細田、柘植、宇都木、藤木、柴田、齋藤、関、山倉

（監事）中山、西

欠席：大内、富永、磯、渡辺、磯野、服部

書記：開江（総務副部長）

平成 30 年 5 月 13 日 10 時 05 分、茨城県作業療法士会事務所（水戸市緑町 3-5-35 茨城県保健衛生会館内）において、理事 17 名、監事 2 名出席の下、理事会を開催し下記議案に付き全員一致をもって可決確定の上、12 時 15 分散会した。

※同日 9 時 00 分から 10 時 00 分、（理事）大場、小森、荒井、武士、（監事）中山、西の出席の下、会計監査が実施された。

【 I 審議事項】

1. 賛助会員規定について → 原案通り承認 (荒井規約委員長)
 - ・ 賛助会員規定を施行するにあたり審議が行われた。
 - ・ 第 2 回理事会にて行われた審議を元に規程の一部を追記、修正。総会で報告する。
 - ・ 賛助会員については、当士会ホームページにバナーを掲載。
2. 会員の復会について → 一部修正のうえ承認 (荒井規約委員長)
 - ・ 会員の復会について、定款細則第 5 条に「過去において支払われなかった会費がある場合には別に規定する手数料を支払う」という文言があり、会費未納者に対し暫定的に未納期間分の手数料を支払う事で復会を認めていた。今後は、定款第 11 条に基づき会費の支払い義務を 1 年間履行しなかった場合は会員資格の喪失として取り扱う事とする。
 - ・ 事務処理としては、手数料がなくなることによって簡易化される。
 - ・ 入会時に、会員になることのメリット、失効することのデメリットをしっかりと提示していく必要がある。
 - ・ 今後、日本作業療法士協会の会費と県士会の会費を一括にするという流れもある為、流れに合わせていく必要もある。（1 年間未納、その後の支払い期限にも支払いを行わない際は失効扱いとなる。）
 - ・ 今後、複数年未納者で復会したいという会員に対しては、復会依頼書提出の上、理事会協議。復会に際しては、未納分の会費についても支払っていただくかなど理事会協議。
3. 慶弔規約の対象について → 担当部局へ差し戻し、一部修正のうえ承認 (田口厚生部長)
 - ・ 慶弔規約の対象について審議が行われた。
 - ・ 規約上では、原則的に正会員のみが慶弔の対象となっていたが、正会員の一親等に対する慶弔依頼が発生した。原因として、ホームページ上の申込用紙に「正会員を含む一親等が対象」との文言があった為、申込者に混乱を生じさせてしまった。
 - ・ 特例が生じた場合を除き、慶弔の対象は正会員のみとし、ホームページ上の申込用紙も速やかに修正する。
 - ・ 慶弔規程第 2 条の対象においても団体代表者、賛助会員代表、監事を追記修正する。
4. 出前講座について → 担当部局へ差し戻し (細田いきいき地域づくり事業部長)
 - ・ 現在計画している出前講座の全体のスキームを提示した上で、今後の活動について審議が行われた。
 - ・ 出前講座の目的としては、地域住人のニーズを吸い上げることが目的となる。

- ・出前講座単発で終わらず、循環して地域住民のニーズに対して、アウトプットできる体制を検討したい。
- ・手始めとして、細田部長の地元の母親クラブ（30～50歳代の主婦の集まり）に対して出前講座を実施し、データを収集していく。
- ・広報の仕方について県民に分かりやすいように実施していく必要がある。その際は、対象者、依頼先をしっかりと提示し、内容についてもOTの専門性を生かして携われることについてしっかりと明記する必要がある。

5. 平成29年度事業報告について →原案通り承認 (荒井総務部長)
 ・事業報告書をもとに、各部局の平成29年度の事業内容について確認した。総会議案書に挿入し報告していく。

6. 平成29年度決算について →原案通り承認 (武士財務部長)
 ・武士財務部長より平成29年度の決算報告が行われた。
 ・経常収益 会費：8,540,000 会費納入率100% その他収入：2,782,339 合計：11,322,339
 ・経常費用計：11,178,529
 ・正味財産増減額：+143,810
 ・公益目的事業における予算案に対する経常費用進捗率は各部局90%を超えるものとなっている。
 ・公益目的事業比率は公益目的事業会計の経常費用の割合が50%以上である必要があるが、56.7%となっており、公益認定基準を満たす数値である。
 ・遊休財産額は4,044,402円であり、保有上限額に対して基準をクリアする数値である。
 ・会費充当割合は51.7%でありほぼ予算案どおり。
 ・印刷会社の取引が困難となった際の印刷製本、郵送費が想定外の大きな支出となった。しかしながら、予算に対する事業遂行率が90%を超える数値となり、結果として公益認定基準数値は前年度よりも良好な数値となった。
 ・本日5月13日に行われた会計監査にて平成29年度の決算報告書について監事2名に報告済み。承認を頂いている。
 ・会計監査後に、会費納入率についてのご指摘を頂いたが、会費納入率については会員数の95%納入を見込む予算計上としている。
 ・平成29年度は予算案よりも大きく会費納入があったため、100%を超えたと考えている。
 ・以上、総会議案書へ挿入し総会にて報告していく。

【Ⅱ報告・連絡事項】

1. いきいき茨城ゆめ大会について (荒井総務部長)
 荒井総務部長から、いきいき茨城ゆめ大会についての報告があった。
 ・コンディショニングルーム担当者：つくばセントラル病院 柘植哲洋氏
 コンディショニングルーム運営会場の候補として、フライングディスク：水戸、バレーボール：ひたちなか市、ボウリング：取手市、卓球：日立市をあげ、各団体と調整していく。
 ・資格審査者の委嘱に対して、水戸赤十字病院 荒井裕久氏、つくばセントラル病院 柘植哲洋氏、石崎病院 浅野諭氏、総和中央病院 三木孝太氏を推薦した。
 ・茨城県アスレチックトレーナー協議会より、「障スポコンディショニングルームの運営検討部会」への担当者1名の依頼あり。柘植哲洋氏を推薦していく。参加の際の交通費については、県士会から旅費交通費として支弁する。

2. 第15回精神障害者バレーボール大会について (荒井総務部長)
 ・6月23日(土)に開催予定。
 ・5月11日(金)に運営会議が茨城県精神福祉センターにて行われ、永井ひたちの森病院の大松史人氏にご出席いただいた。今後は、大松氏を中心に当日のボランティアメンバーを募っていただくと。

3 第1回都道府県47委員会参加報告 (大場会長、寛教育学術局長)

1)生涯教育制度について

- ・本年度より会員証をデータ化し、新たに研修受講カードを発行した。今年度末には全士会にバーコードリーダーを配布予定。(茨城はモデル事業参加のため保有済み)
- ・生涯教育手帳は今年度より廃止し電子化する予定。

2)臨床実習指導者について

- ・臨床実習指導者研修修了者のみがバイザーとなる。平成31年度より施行し、平成32年度より適用。今年度は臨床実習指導者研修(講師育成)を全国15ヶ所で予定。
- ・臨床実習指導者研修中級・上級が終了したものが対象となる。
- ・現在茨城県では14名が受講終了している。この14名に研修を依頼し、さらに受講者を増やしていく。

3)会員管理について

- ・協会員=士会員に関する調査、6月1日締め切り。
- ・施設マスタに新規項目を追加。6月頃を予定。

4)災害訓練について

- ・2月に実施した災害シミュレーション訓練を今後も定期的にも実施予定。

5)地域包括ケア人材育成研修について

- ・7/21,22に人材育成研修会を開催予定。(各士会から2名参加:1名協会持ち、1名士会持ち)会場は秋葉原で調整中。

4.総会関連について

(荒井総務部長)

1)総会議案書の印刷、発送に関して

- ・議案書は、955(郵送分)+45部(当日配布資料)として、合計1000部の印刷予定。
- 5月13日理事会終了後に完成した資料(PDF)を連絡する流れとなっている。
- 発送は、牛久郵便局から後納郵便にて16日には手続き完了している予定。

2) 総会議案書第5号議案「茨城県作業療法士養成校連絡協議会」設置について

- ・3月に承認された茨城県作業療法士養成校連絡協議会については、総会第5号議案にて会員へ説明し、それ以降事業目的に沿って事業を進めていく。

3)当日の登壇者

- ・全理事登壇の上、事業報告・計画を各部局の担当者が実施する。
- ・平成29年度収支決算書、平成30年度収支予算(案)について:武士財務部長
- ・監事意見書報告について:中山監事
- ・学会運営について:宇都木学会部長
- ・総会議案書第5号議案について:大場会長
- ・当日受付について:庶務部
- ・書記:今年度は教育学術局より選出(柘植・若山)。持ち回りで実施していく。
- ・司会進行:大内事務局次長

5. 平成30年度予算案について

(武士財務部長)

- ・3月に承認された平成30年度予算案について、武士財務部長より、再度、詳細な報告が行われた。
- ・経常収益:11,275,600
- ・経常費用:11,600,069
- ・増減:+324,469
- ・内容については、役員報酬を計上し平成27年度のベースに戻す、事務員の給与増額、謝金の増額、託児所の設置費用による増額が予想されているため、印刷製本、郵送の費用が増額した点について再検討し、費用を削減できるように調整していく。
- ・総会議案書に挿入し報告していく。

6.第 11 回茨城県作業療法学会進捗状況

(宇都木学会部長)

- ・宇都木学会部長より第 11 回茨城県作業療法学会の進捗状況について報告があった。

開催日：平成 31 年 2 月 17 日（日）

タイトル：「医療と介護をつなぐ作業療法」

1)プログラム・講師

- ・基調講演：【地域】村山 OTR、相澤病院病院長
- ・教育講演：【精神】渡辺 OTR、山口 OTR、野崎 OTR、遠藤 OTR
- ・ランチョンセミナー：【児童デイ】石塚 RPT、【MTDLP】谷川 OTR
- ・テーマに合わせて【地域】荒井 Dr. 【認知症】朝田 Dr. への講師依頼も検討。
- ・演題発表
- ・自助具コンテスト
- ・当事者作品コンテスト、当事者写真展

2)設置ブース

- ・ビブリオ
- ・企業ブース
冬の時期であり屋外で実施する企業に関しては参加者が少ない印象。何かしらの工夫をしていく必要がある。
出展業社には、参加者全員へと広報をする時間を短時間でも設けていくことも検討。
- ・託児所
- ・作業出展所
- ・ユーザー支援事業報告

3) 機関紙

- ・演題登録を 6 月中旬から開始予定、9 月末終了。10 月査読、機関紙データの作成。11 月入稿。12 月発送の予定。

4)広報関連

- ・後援、共催の依頼（PT、ST、CM、IRPA、その他関連団体）
県、市町村に対しても後援依頼をしていく。
- ・演題登録 6 月の総会時に案内を紙面で配布。定期郵送物にも入れて周知していく。ホームページでの広報は、ホームページの作業進捗状況に応じて依頼する予定。

5)その他

- ・優秀演題賞の表彰を総会時に実施。参加依頼の連絡を宇都木学会部長より受賞者へ連絡する。

7.託児室の保険について

(大場会長)

- ・損害賠償の保険について加入していく方向。

8.リハケア学会について

(大場会長)

- ・組織体制が変更となった。理事長、副理事長が新しく就任し、リハビリテーション専門職協会が事務局となる。
- ・学術集会、学会誌の作成が業務となるが、当士会としては、今後の学会同時開催を目指して宇都木学会部長に依頼。

次回、総会、理事会について

平成 30 年 6 月 3 日（日）9：00～総会時研修 11：15～総会

総会後に茨城県立医療大学にて第 1 回理事会を開催予定

議事内容：平成 30 年度新体制での運営について 他

以上